

2019年4月26日 JAM東京シニアクラブ「東京街歩き」

「新東京丸」で湾岸視察クルーズ／懐かしい南極観測船「宗谷丸」の見学

第21回目となる「東京・街歩き」を3月26日（火）に、ご夫婦を含む46名の参加を得て実施しました。小雨で心配しましたが天気は持ち直し、午後は青空が見えてきました。

竹芝小型船ターミナルで乗船し、まずレインボーブリッジを潜り進行方向の右手に見えるのが品川ふ頭、大井コンテナふ頭。大井コンテナふ頭は首都圏における国際物流の中心となる日本屈指のコンテナふ頭。大型コンテナ船が同時に7隻つくことが出来、船会社が専用的にふ頭を借りて、世界各地の代表的な港と定期航路で結ばれている説明がありました。東京湾はコンテナ取扱量が横浜港より多く20年連続日本一で、国際貿易港として生活と産業を支える重要な物流の拠点となっていることを実感しました。羽田空港からの飛行機の離着の様子も見る事が出来ます。東京湾コースを一周後、懐かしい南極観測船「宗谷丸」を乗船し見学。

昼食は、「船の科学館」駅からゆりかもめで「お台場海浜公園」に移動、長岡会長の乾杯で始まり、中華料理を頂きました。改めて海からのマンモス都市東京を実感しました。

